

ぼくのお父さん

なかはた さきと
中畑 咲翔

でん車にのると、「本日もごりよういただきましてまことにありがとうございます。まもなく〇〇えき、〇〇えきにとうちやくいたします。」とほうそうがきこえてきます。

ぼくは、お父さんがほうそうしているのをきいたことがあります。ぼくのお父さんは、でん車の車しょうさんのおしごとをしていました。今は、うんてんしになるためにいっぱいおべんきようしています。

お父さんがさいごの車しょうさんのおしごとの日、ぼくは、おじいちゃん・おばあちゃんとつきゅうでん車にのりました。えきは明石えきからひめじえきまでです。明石えきで、お父さんがのっているでん車をワクワクしながらまっています。

すると、ホームにでん車が入ってきて、お父さんのおかおが見えてきました。すると、お父さんが手をふってかれて、ぼくも手をふりました。ぼくは、うれしい気もちでお父さんのでん車にのりました。お父さんがきつぶのかくにんをしにぼくたちのせきにきました。せいふくをきているお父さんはかっこよくてずっと見ていました。さいごに、お父さんとしやしんをとりました。ひめじえきにつくまえに、お父さんが「とつきゅうスーパ―はくとごうをごりようくださいま

してありがとうございます。またのごりようをおまちしております。」と、ほうそうがきこえてきました。ひめじえきをおりて、お父さんに手をふってばいばいしました。そして、おじいちゃん・おばあちゃんとおひるごはんにうどんをたべて、ひめじじょうにいきました。かえりもお父さんのでん車にのって、家にかえりました。今日のできごとをおかあさんにはやく話したくて、「おかあさん、お父さんかっこよかったよ。またお父さんのでん車にのりたい。つきいつのれる?」といいました。

あさ、お父さんはおしごとに行くとき、「さきと、お父さんもおべんきょうがんばってくるから、さきとも学校がんばっていつてきてね。いつてきます。」といて、ぼくの頭をなでたあと、家をでます。だから、ぼくもがんばって学校にいます。お父さんは、おしごとだけじゃなくて、ちゃんとぼくのことも見えてくれて、やさしいこともあります。おしごとをしているお父さんもぼくのことを見えてくれるお父さんもせかいいいかっこよくて、ぼくのヒーローです。いつも、ぼくたちのために、たくさんおしごととしてくれてありがとうございます。いっしょにいるとはずかしくていえないけど、いつもかんしゃしています。「お父さん、ありがとうございます。」